



7月15日、福祉交流プラザさいいでんが開いた報告会の様子です。

# 中国帰国者の代表厚生労働大臣と面談

7月6日、8回目の厚生労働大臣面談及び事務方との意見交換会が行われました。これらは、中国「残留孤児」国家賠償訴訟の和解条件の一つとして生まれました。

2008年4月から施行された中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部を改正する法律(新支

援法)が、適正に運用されているか、また、新たな問題が生じていないかなどについて、年一回大臣と原告団、弁護団の代表が、話し合う場として設定されたものです。

今年、戦後70年の節目です。日中岡山支部は、中国残留孤児等の中国帰国者問題は、アジア・太平洋戦争によって生まれたと考えています。つまり、ソ連侵攻後の開拓団員をはじめ民間人の遺棄、さらに戦後の中国敵視政策により、長期間にわたって中国大陸に放置した、日本政府の政

策に起因しています。私たちは、二つの祖国を持つ中国「残留孤児」は、文字通り日中友好の懸け橋であり両国間の平和を誰よりも望んでいます。また、家族を含め日本で暮らす2万人を超す中国残留孤児関係者が、心から日本に帰ってよかったと思えるよう、努力したいと思

## 中国語で交流でき、孤独感を感じない老人ホームにしてください

これは塩崎大臣に提出した中国残留孤児」に対する支援策に関する10項目の要望事項のひとつです

この要望については、大臣面談の中で自民党の野田議員が次のような発言をしています。

子どものこともありますが、高齢化が進み、言葉の壁は大きい。中国語ができる施設があればいいと思う。私の最後の仕事のひとつは老後施設。孤児専用の施設が必要だと思

う。切実なテーマ。自分は孤児の皆さんと同世代、運命代われれば同じ立場になっていた、ぜひ追加支援したい。「これに対して、大臣は「10項目の要望の中の3番目の老人ホームについて野田先生の話をしっかり受け止めた」と前向きに検討すると答えています。

2014年10月から新支援法」が改正され「配偶者支援法」が施行され、中国帰国者に関する大きな政治的課題は、解決されました。残された課題の中で、高齢化に伴う介護問題が最も深刻になっています。この要望事項の内容を説明した文書を紹介し

ます。(P2:資料1参照) 高見さんは、この要望事項の必要性について、自分の経験をもとに、次のように訴えました。

去年8月から妻が老人ホームに入所したが、日本語ができないので、施設の人と話ができない。5〜6月から下の世話が必要になり、日本食受け付けられない。見舞いに行くが心労、非常に悲しい。妻は施設の中で、病気で倒れた。孤児も配偶者も二世も年を取っていく。中国語のできる施設、デイサービスがほしい。子ども

日中  
あかやま  
読字 原田 鏡  
No. 773  
2015/ 8/ 15

日中友好新聞

発行所  
日本中国友好協会  
〒113-0033 東京都文京区湯島1-1-1  
TEL:03-5621-1111 FAX:03-5621-1112

日中友好協会  
岡山支部  
〒713-8256 岡山県岡山市東区3-8-30 514  
TEL:086(272)-3010  
郵便番号1100 01250-0-3835

日中友好協会  
倉敷支部  
〒713-8211 倉敷市遊島中央1-8-4 (宮地方)  
TEL/FAX:086(446)-2711

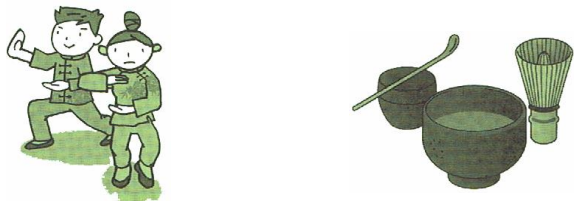
日中友好協会岡山支部ホームページ  
http://rizhong.biz/  
メールアドレス  
rizhong86@hotmail.co.jp



無料

## 中国帰国者との交流会

～日本と中国の伝統文化の体験～



- とき 9月19日(土) 14時～16時
- ところ 岡山市福祉交流プラザさいいでん
- 内容 お茶 大正琴  
折り紙や太極拳の体験コーナーと、プラザさいいでん日本語教室の活動展示。  
いろいろな体験を通して、日本・中国の交流を深めましょう。

# ぼくは忘れない(4)

竹内和夫

- ・「歩調とれ！」三八銃をかついで靖国の広場を行進した軍事教練のことを。
- ・ジュラルミンの溶解工として学徒動員され、徴用の朝鮮の青年からアリランの歌を覚えてもらったことを。
- ・「赤紙」で召集された大正生まれの同級生たちを見送る。さいわい内地にとどまって死をまぬがれたことを。
- ・脳裏に焼き付いている空襲の死体は、マネキン人形でありチンパンジーであったことを。
- ・「勝って帰るぞ」と出征兵士を送り出し、紀元2600年を祝う旗行列に勇ましく参加した少年時代のことを。
- ・「義は山嶽よりも重く、死は鴻毛よりも軽し」と教えられた、軍人勅諭のことを。
- ・男は18才、小学校に集められ、「きょうから貴様らは陸軍二等兵である」と、いいわたされたことを。
- ・「第五福竜丸は航海中一ビキニ水爆被災事件と被ばく漁船60年の記録」¥2000 を読む。世界最初の核実験は1945年7月、アメリカの砂漠からはじまる。つづく旧ソ連、イギリス、フランス、中国など人類に対する犯罪のことを。
- ・すばらしい日本の原水爆禁止運動そして真夏の国民平和大行進のことを。
- ・日本国憲法第9条にノーベル平和賞を！

2015, 6, 28

## (資料1)

### 3、中国語で交流でき、孤独感を感じない老人ホームにしてください

高齢化に伴い、老人ホームに入居する人が急増していますが、24時間の生活の場となることから、中国語が通じない日本の老人向けの和食が口に合わず食事をとることができない、文化面でもレクリエーションも日本の遊びばかりといった悩みが切実さを増しています。

とりわけ言葉の問題は深刻です。要望や体調を職員に伝えることもできず、終日一言も会話を交わすことができないような環境では精神的に不安定になり、認知症も進行してしまいます。

昨年、厚労省は残留孤児の要望を受け止め、全国の介護施設を調査し、「中国語の対応が可能な介護事業所一覧」を作成して下さいました。また、本年2月、中国残留孤児援護基金が、東京都に、中国語のわかる訪問介護員を派遣する「訪問介護ステーション寿星」を開所されたことは、画期的な試みと受け止めております。

しかし、中国語の対応可能な介護施設が全く存在しない都道府県が過半数に上っていますし、日常的に中国語で交流できるような施設はまだほとんどないのが実情です。

これから、介護の問題は年々切実さを増すことは確実です。中国残留孤児に理解の深い2世を積極的に活用して、中国帰国者の入所する施設には中国語のできる職員が常駐するようにして下さい。また、中国帰国者たちが中国語で交流できる環境を整えて下さい。できれば中国料理を作れる調理師も配置して下さい。

さらに、他の入居者に対して、中国残留孤児に対する理解を深めるような取り組みをして下さい。

【通信 2015/6/29】

## 2015岡山県母親大会 in 高梁に520人集う

生命をのみだす母親は生命を育て生命を守ることをのぞみます」のスローガンを掲げ、子どもたちの明るい未来を願って、2015年岡山県母親大会 in 高梁が6月28日、高梁総合文化会館、同文化交流館などを会場に開催され、岡山県下から520人が集いました。

10のテーマに分かれて交流。どの会場もいっばいの盛況でした。午後からの全体会は、オープニング行事 子ども神楽」で幕を開け、記念講演と交流の広場が設けられ、県下各地の運動の成果やくらしと平和を守る訴えと決意が述べられ会場は大いに盛り上がりました。

午前中は、城下町と教育発祥の地めぐり、親子でつくるけんびき焼き」分科会をはじめ、教育と子育て、生きがいのある老後の暮らし、住みたいまちづくり、再生エネルギーと農業と食量、最近のマスコミ問題など、

記念講演の子ども未来・愛ネットワーク共同代表の講師・大塚愛さんは、東電福島原発事故により、実家のある岡山市に避難するまでの暮らしと心の変化・思いをスライド写真で生々しく報告。これからも、団体を含み多くのみなさんと連携して、避難者のサポート・保養受け入れ、情報を共有する冊子の発行などに励みたい。そして何よりも2度と原発事故のない社会をつくること、そのためにもいま、岡山地裁で福島原発おかも訴訟を原告団の一人として行っているのぜひご支援を」と講演を締めくくりました。

備をしながら 場外馬券場設置」反対運動を展開し白紙撤回させ、市民の声が市政を動かした「ホットな報告。会場の拍手と笑顔が舞台と一つになり、元気な女性のパワーがはちきれんばかりの交流の場になりました。

そのあと、戦争法案阻止」ぐらし教育、雇用守れ」の2つの特別決議と大会宣言を採択。特に宣言では、安倍政権、憲法9条と国民のくらしをこわす暴走ぶりは許せません。軍事中心の外交をはじめ、沖縄・辺野古新基地建設や、原発再稼働、消費税増税、労働者派遣法改悪、社会保障切り捨てなど、国民多数の願いに背を向けた政策ばかりです。民意を無視した政治に決して未来はありません。母親が、女性がさらに声をあげ、行動し運動をひろげましょう。私たちの切実な願いを政治に届けていきましょう。そして、8月1日・2日に神戸市で開催される日本母親大会に参加して全国の仲間と交流しましょう。来年の岡山県母親大会でお会いしましょう」と訴え、大きな拍手で確認されました。

(大会写真担当・小阪洋志記)

次回の新聞送付作業は9月1日(火)午後1時半から民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

和 深井三  
内 深井三  
竹 深井三  
内 深井三